

作成日：平成22年6月30日

「CHC・OB会」 理事会会議録

開催回	第 1 回	
開催日時・場所	平成22年6月25日（金） 午後7時～8時30分 築土神社にて	
議長	木村副会長	書記 高村理事
出席者	広瀬会長、木村副会長、高村理事、本澤理事、雲乗理事、熊田理事 計6名	
配布資料	企画会及び委員会が準備した資料	

項目	顚末内容	その他の特記事項
1. 報告事項	1) 現役活動状況報告 高村副部長より、6月16日行われた役員会の下記内容報告があった。 ①2010年春合宿実施報告について 5月21日～23日、蓼科コース、北コース、参加者42名の無事終了した合宿の報告と質疑応答を行った。 ・細かい点で反省すべき事は有ったが無事終了で概ね良かった。 ②トレーニング山行企画について 6月19日～20日、26日～27日、参加予定者41名、丹沢・塔ヶ岳・大倉尾根。 ③夏合宿の計画について 8月5日～12日、北アルプス3コース（槍ヶ岳・笠ヶ岳、蝶ヶ岳・常念岳、甲斐駒・鳳凰）期間短で八ヶ岳で合わせて4コース。 *上記について理事よりパーティーを分散しない同一地域で実施した方が良いのではないかと意見があった。 2) 交流キャンプ実施に向けての準備状況 木村副会長より以下説明があった。 現時点でOB10名、現役25名参加で今回より現役主体の運営にて更なるOBの積極的な参加を依頼することになった。 * 当日の手伝い要員として高村、杉本OBが12時に現地集合することになった。 3) HPのアクセス状況について 大門委員よりの依頼により本澤理事より説明があった。 HPへのアクセス469件（訪問者178人）、50周年HPへのアクセス194件（訪問者60人）、記念誌HP174件（63人）である。HPのアクセス等は増えたが他はさらなる期待をしたい。	※コースを分散リスクが大となり、緊急時の初動態勢が執れない。
2. 協議事項	1) 遭難対策積立金の取り扱い方法について 高村理事長より提出された遭難積立金の運用基準案に基づいて協議され以下の項目を中心に整理し再検討することとなった。 *現役の遭難事故等に対し運用するが、目的、対象範囲、清算方法等を明確にする。	

項 目	顛末内容	その他の特記事項
	2) 今後のOB会運営のあり方について 木村副会長より以下について今後検討していく旨の説明がり、早急に結論は出ないが順次協議をしていく事になった。 ① 会員の意思確認方法 ② 終身会員への協力依頼 ③ 学年代表幹事のありかた ④ 年会費未納解消策 尚、「終身会員への協力依頼」の挨拶文は早急に作成し対応することになった。 3) 50周年事業計画の今後の進め方 木村副会長より以下項目について今後の対応の説明があった。 ① 寄付金協力依頼方法 現時点で約 350 万円の寄附金状況であり、目標の 500 万円へ向けてHPでアピールをしていく必要がある。 ② 編纂部会報告と今後の行動計画 挨拶文の原稿依頼をしていく。 ③ フォーラム部会の今後の行動計画を明確にする必要がある。 ④ 現役の協力体制 4) その他 会員から、会費、寄付金等を振込んでもOB会より何らかの返事をすべきではないかとの意見具申があった。 これについては、HP上に入金のあった会員名のみを掲載し、事務負担の軽減も含め、礼状の代替対応することになった。 3) 次回開催日 7月22日(木) 午後6時30分～会場は別途連絡をします。 暑気払いを兼ねて行います。	
徹底事項	※ 理事会にやむを得ず欠席される場合は、必ず以下に連絡のこと。 (皆さんご多忙のことと思いますが、必ず連絡を！) 連絡先: 広瀬、木村、神永、仲長、熊田 ※ この難しい局面を皆さんの英知と協力により乗り越えましょう ※ 不順な天候が続いておりますので、身体に注意して夏を乗り越えましょう。	